

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月15日

事業所名 放課後等デイサービスいーずII

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		・1、2階ともにスペースとしては10名ずつがちょうどいい。 20名ではスペースも足りない。再構造化が必要。
	2	職員の配置数は適切である	2	2		・しぼりが無いほうがいい。 ・今、現状でいえば足りていない(誰かが急用で休んだ際の人員欠如)。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・簡易的スロープ、手すりなどスペースを取らないように収納できるようにしている。 ・利用する児童に合わせてリフトのある車を準備したり、手すりをつけている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・毎週オリエンテーションとして振り返って、 資質の向上をはかっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・毎週支援計画会議があり、担当を中心に全職員で計画書の話し合いを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・児童の特性に応じて職員間で話し合い、計画書を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・毎日朝礼と終礼を行いその日の報告・連絡は行えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・一覧表があり、それに沿って適宜モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・ミーティングを行い、今の現状に適した目標を会議で話し合っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1		・保護者に確認、一覧としてまとめている。 ・かかりつけHPをしっかりと把握している児とそうでない児がいる。 ・保護者から情報収集している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		・その対象児が今年度が初。 ・相談員などを通して情報を共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		・積極的に研修へ参加し、センターとの連携をしないとけない。 ※1名無回答
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	・コロナの現状があり今年は難しかった。コロナの状況次第。 ・社会参加を外出活動で取り入れ交流する機会があれば。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		・参加したことがない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・計画見直しの際に振り返り、計画書立案後、しっかりと説明と同意を得ている。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		・保護者自身の対応への支援を経験したことがない。 必要がある。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1		・自分の意見(助言)として自信を持って伝えることができない。 ・施設相談を実施している。申し送りの際にも保護者と情報を交換している。 ・児童の送り迎えの際に相談された内容については終礼で周知し、必要な支援を話し合う。 ※1名無回答
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		・昨年は実施していたが、コロナの状況に今年度は開催できなかった。 ・コロナなので。 ・今年度はコロナの関係で実施できなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・その都度職員間で情報を共有し対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		・定期的ではないが行事予定等は適宜保護者や子供に発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4			・情報共有を正しいのか、しっかりと確認をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	・今年度はコロナ関係で難しかった。 ・いずれ地域の中で生活していく子供たちなので、発信の必要性はある。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			・マニュアルを作成し、周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・毎年定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・毎年職員が代表で研修に参加し、内容を職員間で共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		・おやつのアレルギー表は作成してある。 ・一覧表を作っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		・事例集としてはないが、そういった場面があった際は共有できている。 ・提出したものを各事業所に配り職員全員共有している。